

つながりをつくる ～ 社会的な排除から社会的包摂への実践 ～

受講
無料

T F U
Tohoku Fukushi University

実学臨床研究

セミナー

36回

※ 本学大学院総合福祉学研究科社会福祉学専攻の授業科目としても開講されています

■ 受講方法

オンデマンド配信

※ライブ配信ではございません

■ 配信開始日

2024年8月23日(金) 18:00より配信

■ 申込方法

Web専用サイト(Peatix)より登録 <https://tfu-jitsugaku-seminar24.peatix.com/view>

8月23日(金)12時までにお申込み下さい



◆ ワンテーマ講座

「問い」をもち、学び続けることとは

■ テーマ趣旨

今回は働きながら通信教育部で学び、その後大学院に進学し、修了後も新たな「問い」をもち続け、博士課程へ進み研究者となった方、大学院研究生として研究に取り組み、より高度な専門職となった方に、問いをもち、学び続けることの魅力をお話しいただく。

働きながら学び続けることには困難が多いが、通信制や科目等履修、履修プログラムなど、もち続けた問いへの取り組みのための選択肢はいくつもある。今回のセミナーが、多くの方の学び続けることのきっかけになるよう企画した。

■ キーワード

実践研究 問い(リサーチクエスション)

大学院修士課程

■ 企画 TFU実学臨床研究セミナー実行委員会

■ 登壇者 (大学院修了生)

笠松 剛士

社会福祉法人白石陽光園
生活介護事業所さくらの風

相場 恵

東北福祉大学社会福祉学科 准教授

■ コーディネータ

三浦 剛

東北福祉大学総合福祉学部社会福祉学科 教授

■ 福祉実践・実践研究への手がかかり

まず、実践、現実の中から「問い」をどのように見つけるか。そしてその問いをどのように持続、発展させて、研究に結び付けるか。実践は点ではなく線である。学び続ける意思なしには問いを研究することを通して実践レベルへ昇華させることはできない。このようなことを確認できればと考える。



東北福祉大学
Tohoku Fukushi University

【お問い合わせ】

TFU実学臨床研究セミナー実行委員会 事務局
(実習支援センター 実学臨床教育推進室内)
TEL 022-717-3359 FAX 022-301-1293
E-mail kenkyu-seminar@tfu.ac.jp

※平日8:30~17:30までお願いします(土日・祝日不在)

次回(37回)のお知らせ

日時 9月26日(木) 18:30-20:00

20240719